

背景

精神障害を抱える妊産婦の支援に当たっては、産科医療機関と精神科医療機関の連携が必要

■妊産婦メンタルヘルスに関するアンケート調査（東京都医師会／令和5年3月）

- 産科医療機関（診療所）において、精神科医との連携に困難を感じている産婦人科医は78.2%
- 精神科医療機関では「精神疾患をもつ妊産婦を診察できない」が52%以上で、理由は「産婦人科医との連携がない」が最多

■国事業「妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業」

都道府県の拠点病院等にコーディネーターを配置し、精神科・産科、地域の関係機関と連携したネットワークの構築を図る

令和7年度の取組

妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク体制構築のため、以下の取組を実施

令和7年度予算額
27百万円

妊産婦メンタルヘルス検討会

妊産婦メンタルヘルスの課題等の共有・必要な支援策を推進するためのヒアリング・検討会を実施

実
態
把
握

精神面が気になる妊産婦の診察や支援に関する課題
産科・精神科医療機関、区市町村の連携実態や課題 等

妊産婦メンタルヘルス対策に資する母子保健施策の検討

精神科医療機関調査・検索システム構築

都内の精神科医療機関へ妊産婦の受入れ可否等の調査を行い、地図や条件等で検索できるシステムを構築